

奥武蔵レクロゲイン大会 2010年3月28日 埼玉県飯能市

もはやその人気はオリエンテーリングを上回ったと言ってもいいだろう。

2010年3月28日 埼玉県飯能市  
奥武蔵レクロゲイン大会



熱気あふれるスタート前の会場

## 男子

1	ワイルドライフ	601点
2	チーム回峰行	587点
3	片塾	540点

## 女子

1	チームヤマケイ女子部	342点
2	おたまじゃくしはカエルの子	334点
3	TeamDivas-B	278点

## 男女混合

1	中華道場腹一杯	541
2	team spinach	477点
3	渋谷で走る会	461点

## ファミリー

1	チワワーズ	349点
2	あしのかわ	317点
3	ハムちゃん	297点

## シニア

1	Team・ハリUP	330点
2	コキーズ	259点
3	AVRC◆東京A	257点

## 日本最大規模のロゲイン

今年の3月はオリエンテーリング全日本大会もないし奥武蔵レクロゲインに親子で参加してみた。

奥武蔵レクロゲイン大会に集まった参加者はおよそ400名。会場のキャパいっぱいである。運営のキャパもいっぱいに見える。



校庭から一斉にスタート。走る人もいれば歩く人も。6時間の競技が始まった。



コントロールポイントではデジカメによる写真撮影で通過証明を行う。奥武蔵ではポイントごとに違うポーズをすることが求められている。

## 電車・徒歩のコンビネーション

6時間制限レクロゲインというだけあって、電車の移動が許可されている。さっそく西武線の高麗駅を目指し奥武蔵エリアに。そこから関八州の山を越えながらポイントを獲得し、最後は越生駅からJR八高線を使って飯能まで戻ってくる作戦だ。

歩を進めるに従って、あれだけいた人たちがほとんど見えなくなる。高山不動で一組、関八州見晴らし台で二組見た以外は淡々と一人旅。

越生町に降りてくると、周囲には梅菌とか高取山とかオリエンテーリングでおなじみのトレインが見えてくる。

越生駅に列車ギリギリに到着すると、どこから現れたのか判らないが多くの参加者がいつの間にか集まってきた。



八高線の中で残り時間の作戦を立てる参加者。列車本数が少ないだけに作戦が難しい

## 無理はできない

6時間の行動時間で友佳が限界に達したようだ。高麗川駅から会場まで走り通すことができない。最後はすっかりゾンビになってしまってタイムオーバー。結局大減点を喰らって、総合得点はマイナスになってしまった。

うむー残念じゃ。前回の沖縄ロゲインで最高得点を叩き出したのと対照的な結末だった。だが結果がどうであれチーム戦である以上、メンバーの能力を超えて無理はできない。



関八州の山頂付近ですれ違った参加者。大きな地図を持っているのでお互いにすぐに参加者同士だと認識できる。お互いにエールを送り合うのもこの競技の魅力。

## 昔のオリエンテーリング

グループで地図を持ってナビゲーションを行う。食料と水を背負ってゆく。基本的に巡る場所は名所や旧跡、見晴らしのよい場所。通るルートは基本的には道路と小道。

これはオリエンテーリングが日本に導入された1970年代のスタイルと同じ。このスタイルに好感を示して参加する人たちがこんなに多く居る。

オリエンテーリングは進化し、以前のスタイルの愛好家を置き去りにした。以前のスタイルのオリエンテーリングはロゲインと名前を変え、再び多くの人をナビゲーションゲームに引き込んでいるのだ。

(木村佳司)